

有明テニスの森
環境影響評価書案審査意見書と環境影響評価書との関連

主な項目	評価書案審査意見書の内容	評価書の記載内容
大気等	<p>有明地区において、本事業とは別に有明アリーナ等の工事が同時に進められ、工事用車両の集中が懸念されることから、この影響を考慮し、大気質への影響のより一層の低減に努めること。</p> <p>建設機械の稼働に伴う排出ガスは評価の指標を満足するとしているが、計画地近傍には住宅や福祉施設等の環境上配慮すべき施設が存在していることから、環境保全措置を徹底し、建設作業における大気質への影響のより一層の低減に努めること。</p>	<p>計画地周辺において同時期に行われる事業も考慮した工事用車両に係る対策について追記した。(p. 96参照)</p> <p>配慮すべき住居等がある北側敷地境界付近での予測評価を追加した。(p. 93, 94, 95, 100参照)</p> <p>また、建設作業における配慮事項として住民からの問い合わせに対する対応について追記した。(p. 97参照)</p>
生物の生育・生息 基盤、 生物・生態系、 緑 共通	<p>伐採エリア内の大径木については、樹木診断等を行った上で適切な密度で移植するとしていることから、優先順位を付けて適切に移植木を選定するとともに、移植場所の確保、移植後の養生等について適切に実施すること。</p> <p>また、その実施状況について、フォローアップ調査で報告すること。</p>	<p>適切に移植木を選定するとともに、移植後の養生等について追記した。その実施状況についてフォローアップ調査で確認することを追記した。(p. 115, 146, 152参照)</p>
生物・生態系	<p>変更区域内に注目される植物種が確認されていることから、可能な限り、移植を検討し、その保全に努めるとともに、移植の実施状況について、フォローアップ調査で報告すること。</p>	<p>注目される植物については移植を検討し、その保全に努めるとともに、移植の実施状況について、フォローアップ調査で確認することを追記した。(p. 146参照)</p>
騒音・振動	<p>有明地区において、本事業とは別に有明アリーナ等の工事が同時に進められ、工事用車両の集中が懸念されることから、この影響も考慮し、工事用車両による騒音・振動のより一層の低減に努めること。</p> <p>建設機械の稼働に伴う建設作業騒音について、予測は勧告基準を下回るとしているが、計画地近傍には住宅や福祉施設等の環境上配慮すべき施設が存在していることから、環境保全措置を徹底し、建設作業騒音のより一層の低減に努めること。</p>	<p>計画地周辺において同時期に行われる事業も考慮した工事用車両に係る対策について追記した。(p. 185参照)</p> <p>配慮すべき住居等がある北側敷地境界付近での予測評価を追加した。(p. 181, 182, 183, 184, 187参照)</p> <p>また、建設作業における配慮事項として住民からの問い合わせに対する対応等について追記した。(p. 185参照)</p>

自然との触れ合い活動の場	計画地の有明テニスの森は、自然との触れ合い活動の場として広く利用されているが、工事中はほぼ全面的に利用できなくなることから、工事内容や工事工程等について周知徹底し、公園利用者への影響を最小限に抑えること。	工事内容や工事工程等の周知方法について追記した。(p. 226参照)
歩行者空間の快適性	既存街路樹等について、可能な限りの保全を図り、樹形を大きく仕立てる剪定を計画的に実施していく計画としていることから、道路管理者、公園管理者等と十分連携を図り、これらの対策を確実に実施するとともに、より一層の暑さ対策に努めること。	道路に接する公園内の緑化計画について追記した。(p. 241参照)
廃棄物	建設廃棄物については、「東京都建設リサイクル推進計画」における目標値に鑑み、より高い再資源化等率を達成するよう努めること。	建設廃棄物の再資源化にあたって、より一層の努力をすることを追記した。(p. 276参照)
エコマテリアル	建設工事において、エコマテリアルの積極的な利用に努めるとともに、使用状況について確認すること。	エコマテリアルの積極的な利用に努めるとともに、使用状況について確認する。
温室効果ガス、エネルギー共通	「東京都建築物環境計画書制度」におけるエネルギーの使用の合理化に関する方針が不明確なため、これを明らかにすること。	「東京都建築物環境計画書制度」におけるエネルギーの使用の合理化に関する方針について追記した。(p. 307及びp. 318参照)
消防・防災	避難経路は非常時でも迷わず避難できるよう計画するとしていることから、非常時の情報伝達手段について、具体的に記述すること。	非常時の情報伝達手段について追記した。(p. 370参照)
交通渋滞、交通安全共通	有明地区において、本事業とは別に有明アリーナ等の工事が同時に進められ、工事用車両の集中が懸念されることから、環境保全措置を徹底し、より一層の交通の円滑化及び交通安全の確保に努めること。	計画地周辺において同時期に行われる事業も考慮した工事用車両に係る対策について追記した。(p. 377及びp. 399参照)
公共交通へのアクセシビリティ	工事の実施に伴い使用できなくなる国際展示場駅から練習用コートへのアクセス経路について、代替路を設置するとしていることから、事前に周知徹底し、利用者に支障がないよう配慮すること。	工事内容やアクセス経路等の周知方法について追記した。(p. 389参照)